

監督に優勝をプレゼント



教育委員会を訪問したソフトボール部員

3月22、23日に大分市で開催されたソフトボールの「全九州中学選抜男女大会」で、大隅中・大崎中・志布志中の合同チームが優勝しました。

大隅中学校から所属している部員は6人。チームは平成24年12月に結成されました。大会前日に監督の久保幸代^{ゆきよ}教諭が異動することを知り、チームは一丸となりました。主将の萩元佑姫^{はぎもとゆうき}さんは「ピンチでも頑張れたのは先生のおかげ。優勝という最高のプレゼントで恩返しできました」と喜びを話しました。

男女共同参画社会の実現に向けて



提言書を渡す馬場会長（左）と島子副会長（右）

3月27日、曾於市男女共同参画推進懇話会が市に対して提言をしました。

同懇話会は、曾於市男女共同参画プランの進捗状況や、平成24年度に実施した男女共同参画に関する意識調査結果をもとに、地域の高齢化・過疎化問題、自殺対策問題など6つの問題についてまとめた市への提言書を五位塚市長に手渡しました。

提言書を手にした市長は「書かれていることを真摯に受け止め、早急に対策を立てたい」と話しました。

家族経営協定を結び経営向上を



市役所本庁で行われた調印式

3月28日、市役所で家族経営協定調印式が行われました。この協定は、家族による農業経営について、経営の方針や家族の個々の役割、就業条件・就業環境について家族で取り決め、実行していくものです。

今回は、2組の家族が調印式に臨まれました。式では、市長他2名の立会人のもと、署名を行いました。薄窪千弘^{うすくぼちひろ}さんは「息子が安心して継げるよう頑張りたい」と、大迫政侑^{おおさこまさとゆき}さんは「結んだ内容を守り、経営向上に取り組みたい」と抱負を述べました。

つきのが見えますか



看板の完成を祝う月野小児童と地域住民

国際宇宙ステーションに長期滞在の宇宙飛行士・若田光一^{わかつたこういち}さんを励ます看板が、大隅町月野に登場しました。若田さんの父親は月野出身。宇宙で頑張る若田さんへエールを送ろうと、月野小PTAと地域住民が設置しました。高さ9m、幅8mの看板には月野小の児童が宇宙にいる若田さんを見上げる姿と、「つきのが見えますか」というメッセージが書かれています。月野小6年生の竹山想司^{たけやまそうし}さんは「若田さんのように世界で活躍できる人になりたいです」と話しました。



サツマイモの苗植え体験

曾於の魅力在台灣へ売り込む

3月29日から4月1日の4日間、台湾人12名（関東地方から11名、台湾から1名）が曾於市を訪れ、田舎体験を通して文化交流を行いました。企画したのは市観光特産開発センター。参加者は、イモの苗植えや、悠久の森でのモミジの植樹などを体験しました。参加者からは、「曾於市の自然は魅力がある」、「曾於市のイメージ作りを」といった意見がありました。曾於市と台湾の交流の大きな一歩となった今回のイベント。同センターは今夏にも台湾からの交流客を受け入れます。



記念式典でのテープカット

安全・安心にくらせるまちづくり

大隅曾於地区消防組合の本部庁舎の開所、通信指令施設の高機能化、救急無線のデジタル化の運用が開始されました。今回、3つの事業の実施により、大隅曾於地区では、情報化社会の最先端技術を駆使した防災活動が行えるようになりました。特に救急無線のデジタル化は、徳之島に続き、県内では2番目の導入です。3月28日に行われた記念式典では、五位塚市長が、「すぐれた機能を消防行政に十分活用し、安全・安心なまちづくりにつなげます」と話しました。



力いっぱいエイサーを踊る園児たち

春の地域安全・交通安全運動出発式

4月4日、曾於警察署で「春の地域安全・交通安全運動」の出発式が行われました。この運動は年に3回実施。地域安全関係団体、交通安全関係団体など約30の団体が地域の安全を見守っています。日高道広署長は、「各種防犯・交通安全ボランティア団体と協力し、交通安全運動を強化していきたい」と話しました。式では、正心保育園（大隅町月野）園児による元気に溢れたエイサー踊りも披露され、出発式に花を添えました。



介護施設として生まれ変わった旧南之郷中学校舎

郷土への思い

南之郷中学校跡を利用した介護施設「社会福祉法人南之郷」が4月1日、開設されました。南之郷中学校は平成24年3月に閉校。その歴史に幕を閉じました。理事長の富永勇次さんは「私は、南之郷の出身ですが、南之郷を卒業していません。だからこそ、南之郷に對する思いがありました」と話します。また、「南之郷には優れた人材が多くいます。雇用の場を提供することで、地元で働き、子育てができるようになれば」と思いを語りました。

溝ノ口洞穴岩穴祭り



馬頭観音を前に奴踊りを奉納する子どもたち

4月6日、財部町にある溝ノ口洞穴（県指定天然記念物）で岩穴祭りが行われました。今年は、奴踊りと棒踊りが奉納され、大いに祭りを盛り上げました。

中谷小6年生の小園陸斗さんは「大勢の人に喜んでもらえた。練習は約2カ月前から1時間半程度。その成果を出せました」と笑顔で話しました。

午後からは、岩穴近くにある馬頭観音前でも奉納。鹿児島市からのツアー客を含む大勢の来場者は、満足した様子で洞穴を後にしました。

夢実現テーマソング初披露



「走れ未来への路」を合唱する財部中の生徒たち

4月18日、財部中学校舎・屋内運動場改築落成式が行われ、記念セレモニーで夢実現テーマソングが初披露されました。

市教育委員会では、夢実現にチャレンジする子どもたちに向けて、テーマソングを作成。97点の応募作品から、末吉中1年の山之内那南さんの詞を最優秀賞として選出。その詞に、財部中3年の森園歩さんが曲をつけました。森園さんは、「周りの期待が大きくて緊張した。みんなが口ずさんでくれれば嬉しいです」と話しました。

コミュニティスポーツ倶楽部開講



スタイリッシュ・ヨガ教室の講師と参加者

4月3日、生きいき健康センターで、総合型コミュニティスポーツ倶楽部（ちびっこバランス教室・サッカー教室など）の開講式が行われました。NPOおお文化村代表、児玉勝雄さんが、「子どもから高齢者まで、それぞれの志向・レベルに合わせてスポーツを好きになって、楽しんでほしい」と設立。第1回目の講座は、スタイリッシュ・ヨガ教室。講師の鎌田利香先生指導のもと、参加者は爽やかな汗を流していました。

市民の暮らしを守ります



納車された指揮車（左）と、ポンプ車（右）

3月23日、市消防団への公用車の引き渡し式が行われました。今回、納入されたのは、市消防団本部大隅方面隊へ消防指揮車が1台、財部中央分団へ水槽付消防ポンプ車1台です。式では、納車した業者から五位塚市長へ鍵が引き渡された後に、市消防分団長へ渡されました。

昨年11月には、市内で火災による死亡事故が発生しました。このような事故が起きないよう、市民を火災から守り、火災予防をアピールするための活躍が期待されます。